

初代年祭御礼文

おぢいさん ○○の初代として末代に向う救け一条の土台となって下さったおぢいさん

只今このように孫曾孫打ち揃って参拝させて頂きました 又すでにご承知の通り この他に海外布教を誓って 遠くハワイの地で頑張っている孫曾孫も居ります

戦後生まれた我々は 残念ながらおぢいさんのお顔もお姿も知りません たゞ
＼／お写真を通してご生前の面影をしのぶばかりであります しかしおばあさんやお父さんたちから そのご苦勞についてはいろ／＼と伺って居ります

お父さん達二人の子供を置き去りにして 単身おばあさんがこの横浜の地に出られてからの三年余り 商売を続けながらよく男一人で頑張り通されましたネ 炊事洗濯又慣れない手付きで疲れた眼をこすりながらつくろいものをしたり その上子供達の勉強まで見られたと聞いております それこそ雨の日 風の日 暑い夏も 肌をつんざく厳寒の冬も 文字通り 辛抱強くしかも真面目に貫き通されとのこと このような中にもおぢいさんの優しさと粘り強さがしのばれて 全く驚くばかりであります それに妻子の為とは云いながら 前半生を傾けられた五間々口の文房具商店をいさぎよくたゞまれ あてどもない単独布教の生活に切りかえられましたネ

追われるものの如く横浜に飛び出され とたんに野宿の途中で間違えられ 三日も四日も留置場でとめ置かれた由 全く涙無くして聞く事が出来ませぬ

それでも二人の男の子を大学まで出し しかも二人とも「甲種合格になってくれた」とお出直しの真近い頃喜ばれたそうですネ たゞ／＼私たちも惜しまれてならないのは 毎日のように教会設立の願書をお書きになり乍ら 戦時中の法律にはばまれて 名称開設に至らなかつたことでもあります まさしく教祖に対する 夫善兵衛様のご苦勞と 蔭の貴重なお働きを思い起こさずにはいられません おぢいさんが遺されました「我が身どうなっても」の思いは二人の子供に伝えられ 我々孫や曾孫たちにも脈々と生きつゞけております どうか心よりご安心下さいましてこの祖霊殿へお鎮まりになり 多くの先輩方と共に天翔り国翔けりて 後になり先になり親心深くお導き下さい

今日おぢいさんの年祭を通して 我々尚一層一手一つになって お道の先をます／＼高めていくよう ご霊前に居並ぶ人たちと共に力強く 又仲良く頑張っ

て行きたいと思つて居ります おぢいさん まことに有り難うございました 心からお礼申し上げます

孫 曾孫代表

△△△△△